

# 1. 道 路

当地域整備部の道路網は、青森市から五所川原市、鱒ヶ沢町を經由して日本海沿いを南下し、秋田県に至る国道101号と津軽半島を縦断する国道339号の2つの国道を基幹に、津軽半島を横断する鱒ヶ沢蟹田線等の14路線の主要地方道と、58路線の一般県道により構成されており、全体で74路線、総延長約796km（五所川原372km、鱒ヶ沢424km）を管理しています。



国道101号国道改築事業（追良瀬バイパス：深浦町）

# 1. 管内の交通ネットワークの整備

## (1) 津軽自動車道

青森市浪岡（浪岡 I C）を起点とし、五所川原市を経て、鱈ヶ沢町に至る延長約40kmの自動車専用道路です。このうち青森市浪岡と五所川原市を結ぶ浪岡五所川原道路延長15.7kmは、国道101号の自動車専用道路として、平成3年度に県の事業として着手し、平成5年度からは、権限代行として国土交通省が事業をおこなっています。

平成14年度に供用された浪岡 I C から五所川原東 I C（五所川原市福山地区内）までの延長8.1kmに引き続き、五所川原北 I C（五所川原市下平井町）までの延長7.6kmが平成19年12月に供用されました。なお、現在直轄事業として、五所川原西バイパス延長L = 3.8kmについて、用地買収及び改良工事や橋梁工事を進めるとともに、鱈ヶ沢道路L = 3.7kmについても、調査、設計を実施する他、用地買収に着手します。

津 軽 自 動 車 道 の 経 緯		
S62. 6. 30	青 森～鱈ヶ沢間	予定路線
H 1. 8. 8	浪 岡～五所川原間	基本計画区間
H 3. 12. 3	浪 岡～五所川原間	整備計画区間
H 5. 7. 30	五所川原～鱈ヶ沢間	基本計画区間
H14. 11. 25	浪 岡～五所川原東 I C	供用開始
H19. 12. 14	五所川原東 I C～五所川原北 I C	供用開始

## (2) 国道 101 号

青森市浪岡から五所川原市、鱈ヶ沢町等を経由し、日本海沿いに南下する国道101号は、地域住民にとって生命線と言える幹線道路であり、重要な生活道路でもあります。このため、道路利用者の利便性の向上を図るために、鱈ヶ沢バイパス延長7.6kmを平成14年度に供用し、田野沢バイパスは平成17年度延長0.6kmを部分供用し、平成19年度残1.15kmが完成し、全体延長1.75kmが供用されました。

また、追良瀬バイパス第一期工区延長2.4kmも平成19年度に完成し供用されました。引続き平成20年度から、追良瀬バイパス第二期工区延長3.6kmに着手しています。

## (3) 国道 339 号

2次生活圏中心都市五所川原市と弘前市を結ぶ国道339号の藤崎町から五所川原市まで延長約16.7kmのバイパス建設は、昭和47年に着手し、平成9年度に全線完成供用しました。

現在、五所川原市内の円滑な交通の確保と津軽自動車道五所川原インターチェンジへのアクセスを目的とした全体延長5.2kmの五所川原北バイパスの建設に平成6年度から着手しています。

このうち、起点側の五所川原市街地よりの延長2km区間について、平成19年12月に浪岡五所川原道路に合わせ、同時供用しました。

また、指定以来通行不能区間であった国道339号坂本台～竜飛区間（愛称名「竜泊ライン」）は昭和59年度に一車線供用開始し、平成12年度には二車線拡幅の整備を完成させ、大型バスの通行も可能になりました。

#### (4) その他の幹線道路

鱒ヶ沢町から五所川原市（旧市浦村）、中泊町（旧中里町）を經由し外ヶ浜町へ通ずる、いわゆる半島循環道路を形成する主要地方道鱒ヶ沢蟹田線中泊町今泉～外ヶ浜町大平工区は、これまで難所であった「中山峠」を「やまなみトンネル（延長523m）」建設により解消し、平成11年度全線供用しました。

さらに、つがる市菰樋バイパス延長2.8kmを平成16年度に供用し、地域の交流促進を支援しています。

また、五所川原市とつがる市車力を連絡する五所川原車力線については、平成13年度から本県最大の河川「岩木川」を跨ぐ（仮称）第二津軽大橋（橋長600m）を含む全体延長6kmのバイパス整備に着手しており、津軽半島地域内外の連携強化を図ることとしています。

青森空港から津軽平野を横断し岩木山麓に至る津軽横断道路については、その一部を構成し、最も大規模工事となる岩木川を跨ぐ津軽りんご大橋（橋長305.3m）を、平成15年度に完成供用させたところです。また平成16年度には板柳町と藤崎町福館地区を結ぶ（仮称）新常福橋を含む延長1.4kmのバイパス整備に着手し、平成17年度は、五所川原岩木線掛落林工区の板柳町掛落林踏切の立体化が補助採択され、その整備に本格着手しました。

弘前市とつがる市を結ぶ、主要地方道弘前柏線（柏工区）は、平成15年度に延長1.74kmを部分供用し、平成19年度残延長0.9kmが完成し、全体延長2.64kmが供用されました。

また、つがる市の主要地域を結ぶ桑野木田南広森線の柴田バイパス延長1.3kmが、平成21年3月に供用されています。



国道339号国道改築事業（北バイパス：五所川原市）

平成 22年度の道路関係事業費

(単位:百万円)

工種	公県	補助事業	県単事業	計
道路改築		1,240.0	92.0	1,332.0
橋梁架替		0.0	19.0	19.0
交通安全		361.6	121.0	482.6
災害防除・凍害防雪・橋梁補修等		1,053.9	1,148.7	2,202.6
県代行		101.4	0.0	101.4
合計		2,756.9	1,380.7	4,137.6

平成 22年度の主な道路事業

事業種別	路線名	施工箇所	全体延長(m)	平成 22 年度	
				事業費(百万円)	施工概要
国道(改築)	国道 101 号	深浦町追良瀬	第 2 期 3,600.0	90.0	測量・調査・設計
国道(改築)	国道 339 号	五所川原市下平井町	5,200.0	130.0	改良工
県道(改築)	五所川原車力線	中泊町福浦～ つがる市車力	5,050.0	700.0	橋梁工・改良工
橋梁補修	国道 101 号 (鳴戸橋)	鱈ヶ沢町舞戸町	18.3	175.0	仮橋工・上部工
交付金 (交通安全)	国道 101 号	深浦町岩崎	161.7	163.2	踏切拡幅
交付金 (交通安全)	屏風山内真部線	五所川原市金木町	130.0	86.0	踏切拡幅
交付金 (災害防除)	国道 339 号	中泊町小泊南小泊山	115.0	87.9	落石対策
交付金 (凍雪害防止)	国道 339 号	鶴田町鶴田	1,117.0 (両側)	100.0	融雪溝
交付金 (凍雪害防止)	五所川原車力線	つがる市下車力町	2,390.0	70.0	融雪溝
交付金 (橋梁補修)	屏風山内真部線 (神田橋)	五所川原市金木町	389.5	94.0	塗装塗り替え
交付金 (代行)	中村長平線	鱈ヶ沢町中村町	3,052.0	101.4	改良工・舗装工 法面工



国道 339 号交通安全施設整備事業（五所川原市栄町）



国道 101 号国道改築事業（鱒ヶ沢バイパス：鱒ヶ沢町）